

基本施策(2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ④ えひめ農業の魅力を拡大します

具体的な推進事項 1 共同選果・共同販売体制を強化し、産地の維持・拡大を推進します

○集出荷貯蔵施設の整備

【取組】

- 強い農業づくり総合支援交付金や産地生産基盤パワーアップ事業（国事業）を活用し、3か所のかんきつ選果施設整備を支援

【成果】

- 建物・選果施設・出荷施設・冷蔵施設整備：1か所（JAにしうわ）
- 建物・選果施設・冷蔵施設整備：1か所（（株）地域法人無茶々園）
- 選果施設整備：1か所（（株）ニュース）

【関係事業】

- かんきつ流通施設強化支援事業費：1,540,950千円（繰越）
- 果樹産地整備事業費：226,371千円
- 産地収益力強化支援事業費：99,000千円



かんきつの選果

基本施策(2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ④ えひめ農業の魅力を拡大します

具体的な推進事項 2 先端技術を活用したスマート農業等の普及を推進します

○再編復旧園発スマートアグリ推進

【取組】

- 果樹スマートアグリモデル園地整備（今治市上浦地区）
- 果樹園適地マップ作成

【成果】

- 気象クラウドシステム、遠隔自動かん水装置、防除用ドローン、ラジコン草刈機の導入
- しまなみ地域の営農適地（-3℃以上）を示すマップを作成

【関係事業】

- 再編復旧園発スマートアグリ推進事業費：1,117千円



データに基づく栽培管理

○5G（第5世代移动通信システム）の活用促進

【取組】

- 将来的な5Gインフラ整備を見越し、生産現場と普及指導機関等を高画質映像で結び、現地に赴かなくとも、指導がリアルタイムで行える生産支援サービスの提供に向けたシステムを開発

【成果】

- リアルタイムで高レベルな生産指導等が可能な体制を構築
- 農業者等からの相談依頼・情報提供：延べ1,253件

【関係事業】

- リアルタイム農業普及指導ネットワーク構築事業：13,533千円



園地で撮影し送信された柑橘の病害虫の画像

○ドローン等の普及推進

【取組】

- ドローン等の利用拡大研修、防除農薬適用拡大試験の実施

【成果】

- 研修会の開催：2回（参加者：305人）
- 試験剤数：4剤

【関係事業】

- ドローン防除農薬適用拡大普及事業費：763千円



ドローンのデモフライト

基本施策 (2) 競争力の高いえひめ農業の生産力・販売力を磨きます

施策の展開方向 ④ えひめ農業の魅力を拡大します

具体的な推進事項 2 先端技術を活用したスマート農業等の普及を推進します

○スマート農業技術開発・普及促進

【取組】

- ・米麦において、スマート農機を活用した高品質多収栽培に向けた実証試験を実施、結果を速やかに横展開、現場実装を加速化

【成果】

- ・収量コンバインによる実証データを基に、可変施肥田植機で施肥量を加減することで、収量のばらつき改善と増収効果を確認

【関係事業】

- ・米麦スマート農業技術開発・普及促進事業費：4,982千円



収量コンバインによる収穫作業

○広域連携型農林水産研究開発課題(スマート農業)への対応

【取組】

- ① 急傾斜園地に対応したロボット台車の開発、労働負担等の調査
- ② かんきつ栽培における急傾斜地での過酷な労働環境の改善・超省力化に向け、ドローン防除の高精度化を図るための樹形改造やドローン飛行経路の検討

【成果】

- ① ロボット台車を使用し、運搬及び施肥作業について労働負担調査を実施した結果、いずれも労働力の軽減を確認
- ② カンキツ黒点病を対象としたドローン防除を実施した結果、慣行樹形における効果は手散布と同等程度であったが、改造樹形における効果は慣行樹形に比べ、やや良好

【関係事業】

- ① 広域連携型農林水産研究開発事業費のうち、急傾斜農業の超省力化に向けた小型農業ロボットシステム開発
農水研（ロボット台車）：1,929千円
果樹研（ドローン）：2,487千円



試験中のロボット台車



かんきつ園地で防除作業中のドローン

○大型檻・遠隔監視捕獲装置等を用いた効果的な捕獲を実証

【取組】

- ・イノシシやニホンザルの効果的な捕獲を行うため、大型檻や囲い罠と遠隔監視装置を組み合わせた捕獲の現地実証

【成果】

- ・現地実証：7か所（松山市ほか6市町）
- ・捕獲状況：17頭〔R5：36頭、R4：33頭〕

【関係事業】

- ・鳥獣害防止対策推進事業費（普及推進事業分）：1,807千円
- ・鳥獣害防止対策総合支援事業費：325,301千円



大型檻内へのニホンザルの誘因をリアルタイムで確認

○酪農スマート農業技術の普及推進

【取組】

- ・公共牧場での繁殖管理の効率化を目的とし、ドローンを活用した発情監視システムの開発

【成果】

- ・一定の条件下において、ドローン画像及びAI画像認識技術により、発情監視に有効なシステムであることを確認

【関係事業】

- ・乳用牛生涯乳量向上事業費：7,590千円



発情監視システム

対象物（牛：青枠、ヒートマウントディテクターの反応：有：赤枠、無：緑枠）を検出